

養父市（兵庫県養父市）

R3補正
R4当初

36

背景・課題

養父市は、令和4年度に「人と環境にやさしい農と食を未来につなぐまち」をテーマとした人と環境にやさしい農業ビジョンを策定し、その中心的な取組として有機農業を位置付けた。今後は農業者の有機転換促進、消費者理解の醸成や販売促進など、様々な面からアプローチを図る。

成果目標と達成状況

目標：令和6年度

○有機農業面積（計画時15.5ha）

実績：令和4年度

目標：17ha→実績：15.9ha（達成率：26.7%）

○有機農業者数（計画時16人）

目標：20人→実績：16人（達成率：0.0%）

○有機販売量（計画時84t）

目標：92t→実績：75.7t（達成率：0.0%）



養父市

構成員

有機農業育成事業者、農業委員会、有機農産物生産者、養父市等

品目

水稲、野菜

取組の成果

①調達（耕畜連携） ●堆肥づくり講習会 ●意見交換会の開催

養父市の重要な資源である牛ふん堆肥の利用拡充を目指し、耕種農家、畜産農家を招集して意見交換し、耕畜双方の協力強化を図る。（1月下旬開催）また、良質な牛ふん堆肥づくりの講習会も開催予定。（1月中旬開催）

②生産 ●有機農業の栽培技術を学ぶ研修会

環境保全型農業に取り組む農業者を中心に、有機農業の知識習得を目的とした研修会を開催。鳥取大学より教授をお招きし、牛ふん堆肥を利用した良質な土づくりについて学んだ。質疑応答の時間を多く設け、自身のは場について知ること、正しい知識の普及と理解を醸成。



③加工・流通 ●加工・流通業者との検討会議の開催 ●食育についての意見交換会

●生産者、加工業者など様々な分野から招集し、有機農業の促進にかかる要望等、重要な意見を得た。
●給食関係者を招集し、それぞれの課題の整理・展望を話し合い、促進に繋がる有意義な会となった。

④消費 ●消費促進イベントの開催 ●実証販売

●地元文化祭の開催に合わせ、子育て世帯をターゲットとしたマルシェ、講演会、子ども向けプランを行った複合的なイベントを実施。有機農業の意識調査や普及を行った。
●養父市産有機農産物の知名度向上のため、マックスバリュ養父店と連携し、有機農産物の特設コーナーを設置。

養父市オーガニック
マルシェYAP養父市オーガニック
マーケットYAP

普及に向けた取組

生産者、消費者、加工業者、流通業者、それぞれに向けた事業を展開することで、有機農業についての意識や共通認識、そして課題を見出すことができた中で、「養父市の有機農業への取組に関する周知不足」が大きな課題として挙げられた。今後はオーガニックビレッジ宣言をはじめとする「養父市が有機農業を推進している」という根本の周知を中心に、引き続きターゲットを絞った事業を展開し、効果的な有機農業の普及を図る。

問い合わせ先

養父市産業環境部農林振興課 TEL：079-664-0284